

様式第1

令和〇年〇月〇日

栃木県知事 福田 富一 様

住 所 宇都宮市埴田1-1-20
代表者氏名 栃木 太郎

令和〇年度とちぎの伝統工芸品新商品開発支援事業計画認定申請書

令和〇年度とちぎの伝統工芸品新商品開発支援事業の事業計画認定について、とちぎの伝統工芸品新商品開発支援事業実施要領第4条の規定により下記のとおり申請します。

記

1 事業計画

様式第1（別紙）のとおり

別記様式第1

代表者名	栃木 太郎	年齢	55 歳
E-mail アドレス	tochigitaro@XXX.co.jp		
電話番号（固定電話）	028-〇×〇-〇×〇×		
電話番号（携帯電話）	090-〇×〇×-〇×〇×		
商品開発の活動拠点の所在地（派遣先）	〒320-8501 栃木県宇都宮市埴田 1 - 1 - 2 0		
伝統工芸品名	栃木焼		
本事業に申し込んだ動機	(例) ・何故本事業に申し込んだのか。 ・何を求めて本事業に申し込んだのか、本事業に期待すること。 ・本事業に対する意気込み。 ・自分の持っている技術がどのように応用できるか、可能性を広げたい。 等		
今製造している伝統工芸品について抱えている問題、課題について	(例) ・原材料を生産している事業者が非常に少ない。 ・後継者がいない。 ・従事希望者はいるが、十分な給料を払うことができない。 ・新しい商品開発をしたいが、手法が分からない。 等		
これまでの伝統工芸品にこだわらず、伝統的技術を応用した新しいものづくりに対する意見等	(例) ・保有している技術がどのように応用できるか、可能性を知りたい。 ・伝統的技術を応用して全く新しいものを考えてみたい。 等		
本事業を通して実現したいこと、身につけたいこと	(例) ・伝統的技術を応用した新しい商品の考案手法 ・伝統工芸品をブランディングしていく手法 ・これまでの発想とは異なった新しい思考プロセス ・商品をPRしていく手法 等		
オンライン会議（Web 会議）に参加した経験の有無（あてはまるものに○を付けてください。）	(有) ・ 無 ※有る場合には、利用経験のあるシステムを以下から選択ください。 Zoom ・ Teams ・ Google Meet ・ Webex ・ その他 ()		
その他 （自由記述欄）	※今後伝統工芸品産業を振興していくために必要と感じていること、実際に取り組まれていること、今感じていることなど、自由に御記載ください。 ※これまでご自身でされてきた新しい取り組みについて、些細なことでも構いませんので、御記載ください。		

※適宜行を追加してください。

■商品開発について

商品開発概要	内 容
本事業で開発したい商品等について	※現時点で検討されているもの、案、取り組もうとしている商品開発、開発したい商品などを御記入ください。事業を実施するにあたり、デザイナーとの打合せをした中で、それが変化しても構いません。

※現在考えている計画で可。デザイナーとのやり取りの中で変化しても可。

商品開発計画	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
企画立案	←→								
デザイン検討			←→						
試作品製作				←→			←→		
修正、手直し						←→		←→	
完成								▼	成果発表
構成員と役割	No.	伝統工芸品名		伝統工芸品指定者名		構成員	本事業での役割		
				組合等の団体	単独				
	1	栃木焼		栃木焼協同組合		-	栃木太郎	リーダー	
	2	栃木染		-		栃木次郎	同左	企画立案 サブリーダー	
3									

※適宜行を追加してください

■注意事項

- ・本事業は、利益を保証する事業ではありません。
- ・新商品開発に係る費用（デザイナー派遣費用及び事業成果PR動画制作費用は除く）は、認定事業者負担となります。

私は、上記内容について理解しました。

※チェックボックスに「レ点」でチェックをお願いします。